

筑波大学大学院理工学研究科集中講義「数学特別講義 I」レポート問題

問題 1 1次元実確率変数 X が正規分布 $N(0, \sigma^2)$ に従う場合を考える. ただし, $\sigma > 0$ とする. このとき, X^2 は母数 $(\alpha = 1/2, \beta = 2\sigma^2)$ のガンマ分布従うことを示せ.

問題 2 $p, a, b > 0$ とする. X の分布を

$$\mu_{-p, a, b}(dx) = Cx^{-(p+1)}e^{-\frac{1}{2}(ax+\frac{b}{x})} \mathbb{I}_{(0, \infty)}(x)dx$$

とし, Y の分布を

$$\gamma_{p, 2/a}(dy) = C'y^{p-1}e^{-\frac{1}{2}ay} \mathbb{I}_{(0, \infty)}(y)dy$$

とする. ただし, dx, dy は \mathbb{R} 上のルベーク測度とし, C, C' は基準化定数である. いま,

$$\begin{cases} U = \frac{1}{X+Y} \\ V = \frac{1}{X} - \frac{1}{X+Y} \end{cases} \iff \begin{cases} X = \frac{1}{U+V} \\ Y = \frac{1}{U(U+V)} \end{cases}$$

とおいたとき, U と V は独立に $\mu_{-p, b, a}$ と $\gamma_{p, b/2}$ に従うことを確認せよ.

ヒント: 赤平 (2003, page 203) を参照.

問題 3 (確率) 測度

$$\mu(dx) = \frac{1}{2} \exp\{-|x|\} dx$$

を考える.

(i) 確率測度 μ に対して

$$L_\mu(\theta) = \int \exp(\theta x) \mu(dx) \quad \text{および} \quad D(\mu) = \{\theta \in \mathbb{R} : L_\mu < \infty\}$$

を求めたうえで, μ によって生成される自然指数分布族 $\mathcal{F}(\mu)$ を書け.

(ii) $\mathcal{F}(\mu)$ の平均領域 $\mathcal{M}_\mathcal{F} = \dot{k}_\mu(\Theta(\mu))$ を求めよ. ただし, $\Theta(\mu) = \text{Int}D(\mu)$ である.

(iii) $k_\mu(\theta) = \log L_\mu(\theta)$, $\dot{k}_\mu(\theta)$ を $k_\mu(\theta)$ の導関数としたとき, $\psi_\mu(m) = \{\dot{k}_\mu(\theta)\}^{-1}$ を求めよ. ただし, $m \in \mathcal{M}_\mathcal{F}$ である.

(iv) $\mathcal{F}(\mu)$ の分散関数が

$$V_\mathcal{F}(m) = 1 + m^2 + \sqrt{1 + m^2} \quad (m \in \mathcal{M}_\mathcal{F})$$

で与えられることを示せ.

問題 4 $n \geq 1$ とする. $S : 2 \times 2$ は確率測度

$$W(ds) = C(s_{11}s_{22} - s_{12}^2)^n \exp\left\{-\frac{1}{2}(s_{11} + s_{22})\right\} \mathbb{I}_{\text{Sym}^+(2, \mathbb{R})}(s) ds, \quad s = \begin{pmatrix} s_{11} & s_{12} \\ s_{21} & s_{22} \end{pmatrix}$$

を持つとする. ただし, ds は $\text{Sym}(2, \mathbb{R})$ 上のルベーク測度で

$$C = \frac{1}{2^{2n} \sqrt{\pi} \Gamma(n) \Gamma(n - (1/2))}$$

である.

(i) T_{11} と T_{22} の分布を確率密度関数の変換公式を利用して求めよ。ただし，

$$T_{11} = S_{11} - \frac{S_{12}^2}{S_{22}}, \quad T_{12} = \frac{S_{12}}{S_{22}}, \quad T_{22} = S_{22}$$

ヒント：赤平 (2003, page 203) を参照。

(ii) (U, V_1, V_2) の同時確率密度関数を求めよ。ただし，

$$U = S_{11} + S_{22}, \quad V_1 = S_{11} - S_{22}, \quad V_2 = \frac{S_{12}}{2}$$